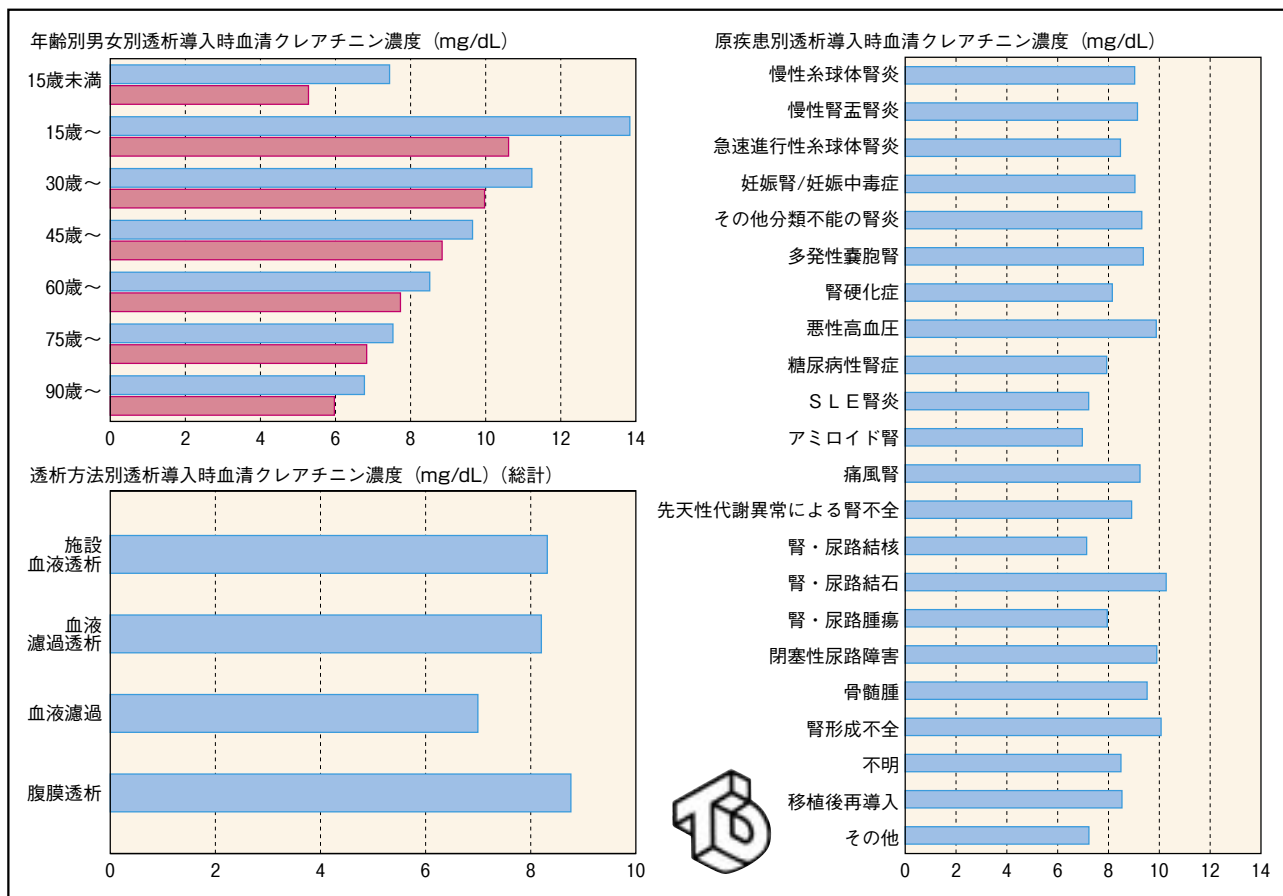


5) 新規透析導入患者の現状

(3) 透析導入時血清クレアチニン濃度 (mg/dL) (図表44)



年齢	平均血清クレアチニン濃度 (mg/dL)		
	男性	女性	総計
15歳未満	7.44	5.28	6.61
15歳～	13.84	10.61	12.84
30歳～	11.23	9.97	10.87
45歳～	9.65	8.84	9.40
60歳～	8.51	7.73	8.25
75歳～	7.53	6.83	7.23
90歳～	6.77	5.97	6.33
合計	8.69	7.68	8.33

治療方法	平均血清クレアチニン濃度 (mg/dL)		
	男性	女性	総計
施設血液透析	8.66	7.69	8.32
血液濾過透析	8.76	7.17	8.19
血液濾過	7.63	5.50	6.99
腹膜透析	9.22	7.92	8.77

原疾患	平均血清クレアチニン濃度 (mg/dL)
慢性糸球体腎炎	9.03
慢性腎盂腎炎	9.14
急速進行性糸球体腎炎	8.47
妊娠腎/妊娠中毒症	9.04
その他分類不能の腎炎	9.31
多発性嚢胞腎	9.37
腎硬化症	8.15
悪性高血圧	9.88
糖尿病性腎症	7.93
SLE腎炎	7.22
アミロイド腎	6.97
痛風腎	9.24
先天性代謝異常による腎不全	8.91
腎・尿路結核	7.14
腎・尿路結石	10.27
腎・尿路腫瘍	7.95
閉塞性尿路障害	9.90
骨髄腫	9.52
腎形成不全	10.07
不明	8.49
移植後再導入	8.53
その他	7.23

患者調査による集計

解説

患者調査で透析導入時検査データの記載のある17,839名で解析を行った。

透析導入時血清クレアチニンは、男性8.69mg/dL、女性7.68mg/dLと男性が高値であり、昨年度調査とほぼ同様の値であった。年齢別では15歳未満の小児領域で低値であり、15歳以降は、年代上昇と同時に低下傾向が認められた。治療方法間には大きな差はなかった。原疾患別では、糖尿病性腎症の血清クレアチニン濃度は、慢性糸球体腎炎患者に比べ低値であった。以上のデータは昨年度調査も同様であった。